

あおもり産木材地産地消ガイドブック 2025

青森の木と暮らす

Made in Aomori House

青森市総合体育館

スカクピロ
スーパリアループ

Special Feature 「健康」「交流」「防災」の拠点

第18回 あおもり産木材活用
建築コンテスト作品集

Made in Aomori House
県産材地産地消ビルダー事例5

木の窓からのけしきを、とりもどそう。



むかし、部屋から見上げた空は木の枠にふちどられていました。

日本のふつうのまいにちは、自然とともにありました。

時はながれ、世界は目まぐるしくかわったけれど、こころが安らぐけしきは、もしかしたらあの空かもしれない。

かつて見た木の窓からのけしきを、とりもどそう。



木製サッシ『MADOBA』

- 性能性気密…… 水密・断熱・遮音・防犯性に優れ、日々のお手入れもしやすい。
- バリエーション…… 空間に合わせて自在に選べるカラーとハンドル。
- 意匠性…… 一つとして同じ木目は無い。木ならではの深い味わい。

人に、環境に優しい木製サッシだからこそ「今」選ばれる理由があります。ぜひショールームにてご体感ください。



株式会社日本の窓 本社/工場ショールーム
〒034-0105 青森県十和田市大字八斗沢字八斗沢68-10
TEL : 0176-58-6070 FAX : 0176-58-6080





AD PAGE

協賛企業・団体

Cover Photo

表紙写真：カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）
写真協力：大成建設株式会社（撮影 川澄・小林研二写真事務所）

CONTENTS

04 Special Feature

[特集]

カクヒログループ スーパーアリーナ

青森市総合体育館

08 AOMORI WOOD ARCHITECTURE CONTEST 2025 2025年度 第18回 あおり産木材活用建築コンテスト

19 *Made in Aomori House* 県産材地産地消ビルダー実例 5

- 20 有限会社 岩木建設
- 24 有限会社 キーポイントホーム
- 28 有限会社 大坊建設
- 32 株式会社 大山建工
- 36 企業組合 県木住

40 *Aomori Wood Showroom Renewal* 株式会社 今井産業「2025 ショールームリニューアル」

44 *Aomori Wood Fan Event* チーム県産材「縁むす日」

48 *Aomori Wood Story_no.2* 県産材ストーリー [第2回] 県産木材を活用した青森ねぶた出陣す！ ～イメージアップ、そして地域経済の活性化を期待して～

- 表2 株式会社 日本の窓
- 50 株式会社 北電
- 51 青森県森林組合連合会
- 52 青森県木材協同組合
- 53 製材等JAS第三者検査機関あおり
- 表3 青森県優良住宅協会
- 表4 NICOSTOCK Furniture

Special Feature

[特集]

カクヒログループ スーパーアリーナ

青森市総合体育館

「健康」「交流」「防災」の拠点
親しみある雰囲気、スポーツはもちろん、
市民が気軽に憩える場に。

青森市中心部からほど近いところにある青い森セントラルパーク。旧国鉄の操車場跡地を利用した公園で、散歩やジョギングなど市民の憩いの場として親しまれています。

その場所に2024年、カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）が完成しました。デザインコンセプトは、「地元のあたたかい自然材料を使った市民の集いと交流の場となる、公園と一体となった、開かれたアリーナ」。建築家の隈研吾さんが設計しました。青森県産木材が要所に効果的に使用され、ぬくもりのある雰囲気を漂わせています。

文・写真=佐藤 史隆 写真協力=大成建設株式会社（撮影 川澄・小林研二写真事務所）
text/photo:Fumitaka Sato photo:TAISEI CORPORATION(photo:Kawasumi・kenji Kobayashi Photograph Office)

「メイン・サブアリーナ」 県産材を壁に張り巡らした

建物は「メインアリーナ」を中心に、「サブアリーナ」、メインとサブアリーナを結ぶ空間「ヨリドマ」を中心に構成され、キッズルーム、多目的室、会議室なども備えています。

メインアリーナとサブアリーナには、壁面を中心に県産木材が使用されており、木の空間、にいることを実感するでしょう。

メインアリーナは、1階に収納式の可動席1344席、2階に固定席1254席を備え、Bリーグ（バスケットボール）やVリーグ（バレーボール）などのプロスポーツの公式試合に対応しています。大型ビジョンもあり、コンサートなど多くのイベントで活用されています。

メインアリーナの1階の壁面には、アカマツ、カラマツの針葉樹合板が横ボーダー状に貼り巡らされています。2階壁面は、音響を考慮しての県産スギ材のムルーバーが設置されており、Y字ブレースの側面と柱側面、天井の鉄骨梁の下端にも県産スギ材が使用されています。

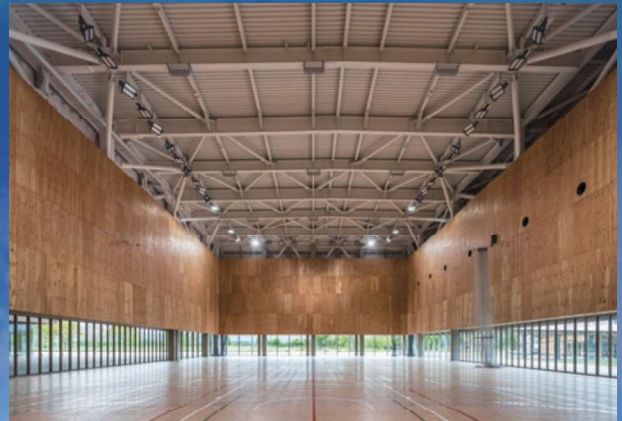
サブアリーナは主に市民の利用を想定しています。アカマツ、カラマツが壁面を覆いつつ、下の方はガラス面で構成しています。南北のガラス面は、開放することができ、この施設を象徴する空間であるヨリドマやイベント広場との一体感をもった利用が可能になります。



メインアリーナ2階にはランニングコースや、館内の案内表示など、要所要所に木材が使用されている



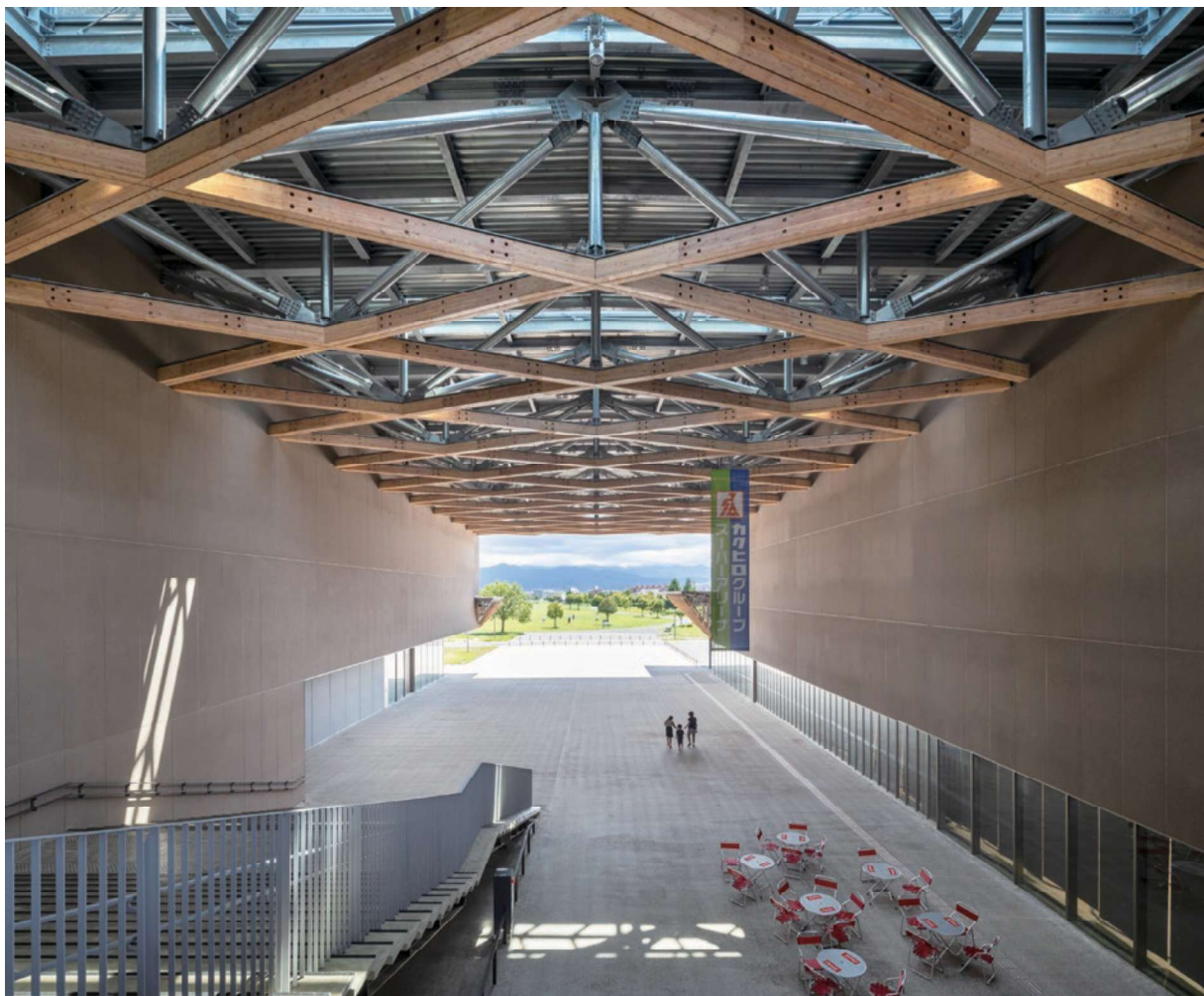
県産木材がインパクトあるかたちで使用されているメインアリーナ



サブアリーナは四方の壁一面に県産木材



青森らしい「温かさ」が込められた「ヨリドマ」



メインアリーナとサブアリーナを県産木材を使用した屋根がっくヨリドマ

青森の風土に育まれた暮らしの知恵とやさしさがこの近代的な建築に取り入れられています。

建物全体の中心部に位置する「ヨリドマ」。見上げると、天井面には鉄骨と木材がハイブリッド構造で、編目格子状に組み込まれています。これはリンゴ籠をモチーフにデザインされています。スポーツをする人たちに限らず、子どもから高齢者まで、多様な市民の活動の舞台となる、伸びやかな風景を、という隈研吾さんの思いが強く込められています。市民のヨリドコロとなる温もりの土間、という意味を込めて命名されました。

また、ヨリドマの階段を上ったところには、最新の風制御設計技術を用いた雪囲い「カッチョ」^{※1}があり、ヨリドマにつながる園路には「コミゼ」^{※2}があります。

コミゼの天井部分もヨリドマ同様、県産木材を用いてのリンゴ籠模様でデザインされています。

※1 五所川原地域などで古くからみられる防風雪の柵。

※2 商店街の私有地部分にかけられた、いわば木製のアーケードで、黒石市のこみせ通りが有名。



子どもたちに人気の「キッズルーム」

開館当初からの人気スペースが「キッズルーム」です。ネット遊具や滑り台などの大型遊具があるエリアと、玩具や絵本などを設置した乳幼児のためのエリアに分けられています。特に後者の乳幼児のためのエリアは、県産木材による棚で囲われており、木のやさしさに包まれているような安心感のある空間になっています。

カクヒログループスーパーアリーナは、アスリートを中心に、子どもから高齢者まで、多くの市民が多様なスタイルで利用できる場所です。青森らしいコンセプトの中に、県産木材が一役も二役も買っています。



ぬくもりと安心感のあるキッズルーム

DATA 施設概要

- 施設名：カクヒログループスーパーアリーナ
(青森市総合体育館)
- 施設概要：地上3階建て
 - メインアリーナ約2,000㎡(40m×50m)、
収容人数約3,500人(Bリーグ時)、
収納式の可動席(1,344席)、2階に固定席(1,254席)
 - サブアリーナ約920㎡(23m×40m)
 - ヨリドマ約850㎡ ●キッズルーム約760㎡
- 延床面積：約11,000㎡
- 建築主：青森市
- 設計：株式会社隈研吾建築都市設計事務所
大成建設株式会社
株式会社川島隆太郎建築事務所
- 監理：株式会社隈研吾建築都市設計事務所
株式会社川島隆太郎建築事務所
- 施工：大成建設株式会社
株式会社藤本建設